

神奈川県ドッジボール協会現況調査

実施日 : 2020年6月21日～28日
対象チーム : 2019年度登録の33チーム（2020年度は未登録のチームが多いため）
回答数 : 30チーム（兄弟チーム2チームと春の県大会のみ参加する1チームを除く）

- Q1. 現在、チームの活動は行なっていますか？ ・はい:23 ・いいえ:7
- Q2. 活動のペースを教えてください。 ・週1回:14 ・週2日:7 ・週3日:2
- Q3. 活動場所はどこですか？ ・グラウンド、公園などの屋外:17 ・本来の活動拠点の体育館、コミセン等(屋内):3
・臨時で借りている体育館、コミセン等(屋内):2 ・web:1
- Q4. コロナウイルス感染症に対する、チーム内での対策はしていますか？ ・している:23 <7チームは活動していないため、未回答>

※ 対策をしている場合、具体的な内容を教えてください。

- ・ 検温
 - ・ 自宅 ・ 体育館前 ・ 練習後 ・ 選手 ・ 保護者
 - ・ 37.3度未満 ・ 37度未満
 - ・ 検温カード配布し忘れた場合は練習に参加させない。
- ・ 手洗い、うがい ・ 休憩毎 ・ 練習時 ・ 練習後
- ・ こまめに休憩を取る
- ・ 体調不良時は休ませる
- ・ ボールは使用しない
- ・ 練習の間はマスクを外させるので声は出さない。
- ・ マスクを入れる袋を各自持参
- ・ サイレント練習
- ・ 水筒やタオル等は都度カバンにしまうようにさせている。
- ・ 7月より市の体育施設が使用可能となり、そのガイドラインに対する対策準備
- ・ 保護者を最低限にする(大人の方が日常生活における感染リスクが高いため)
- ・ 出席者の記録(何かあった時に対応できるようにしておく)
- ・ 練習に参加、見学される保護者はマスク着用の上一定の間隔を空けてもらう
- ・ 本人が発熱など体調不良となった場合、2週間練習を休む
- ・ 家族に体調不良の人がいたら練習を休む
- ・ 距離や間隔を意識しての指導
- ・ 除菌、殺菌、消毒 ・ 手指 ・ 施設内要所 ・ 使用器具 ・ ボール ・ 靴底
 - ・ サポーター ・ シート
- ・ マスクの着用 ・ ミーティング時 ・ 行き帰り ・ 練習時
- ・ ソーシャルディスタンスを意識した練習及び会話
- ・ くつつく守備練習はしない
- ・ 複数人での守備練習のとりやめ
- ・ 運動量がある練習は人と人の距離を空ける
- ・ 三密回避
- ・ 人数制限(班分け、指導者の人数に合わせて少数グループで行う)
- ・ マスク非着用時はなるべく声を出さない
- ・ 窓やドアは全開
- ・ 送迎は蜜を防ぐため各自で移動
- ・ コロナに関する知識を子供たちにもつける
- ・ KDBA他のスポーツ団体の物を参考にチームとしてのガイドライン作成した
- ・ 県協会のガイドラインを保護者、指導者で共有
- ・ 使用施設の利用方法、指示に従う
- ・ 練習時間の短縮

- Q5. 自粛期間中に、チームに変化はありましたか？ ・あった:15 ・なかった:15
- Q6. あった場合はその内容を選んでください。(複数回答可) ・チームが活動を休止した:7 ・部員が辞めた:7 ・その他:2
※その他: ・練習再開に向け保護者間の温度差 ・活動を再開するにあたっての指導者の方針
- Q7. 大会が開催された場合の参加の意思を教えてください。 ・参加したい:24 ・したくない:6
- Q8. 8月以降に大会やジュニア交流会等が開催できる場合の参加の意思を教えてください。 ・参加したい:30 ・したくない:0

※ Q7.で参加したくないを選択した場合、理由を教えてください。また、参加したいに変わる可能性がある場合は、その理由も教えてください。

- ・ 参加したいが対策を練っても感染者が出てしまった場合の後の事が非常に心配です。社会的にまだ叩かれてしまう時期かなと。
- ・ 体育館でのチーム練習が十分できていないこともあり、また経験不足のメンバーも多数いるため、ケガ、体力また、密な体育館での1日を子どもに影響がないのかという懸念から、今回は不参加を決断しました。(保護者意見なども含む)
- ・ 練習再開が7月からです。全ての回答が予定です。参加したいに気持ちは山々ですが、丸4ヶ月練習を行っていない為、子供達の体力低下等の状況を見て怪我の危険なども考慮し参加を考えたいです。
- ・ 参加したいのですが、実際に参加できる状況になるかわかりません。
- ・ 何かあった時に責任をとれないから。
- ・ 11月末から、チームとして活動なので10月まで休みになるため
- ・ 8月末まで活動停止を決定しているため、参加したくないというより、参加できない、です。
- ・ 参加したいですが、参加人数がとても少なくなります。
- ・ 今回保護者全員から意見を聞きました。さらに、6月に2回練習を行ない、気付いた事もあり、7/26の大会参加は難しいと判断しました。
理由①試合形式になると選手同士の間隔がとれない。
理由②審判のホイッスルやコールの際、また、6審での協議でコートに立ち入る時など、唾液の飛沫の問題。(審判の同士、選手からの飛沫のリスクも高い。
この2点においてルールの見直しも必要かと考えます。
また、検温や消毒、移動の際階段廊下など一方通行にするなどいろいろ対策は出来るかと思いますが、選手、審判、スタッフ、何より協会関係者(主催者)の方の負担があと1ヶ月ではあまりに大きすぎると思います。
県内チームとの交流戦などを通し、問題点を洗い出し審判の方たちの意見も聞いてじっくりと対策をしていく必要性を感じます。
選手、スタッフ、審判の安全安心を得るには時期が早く、現在の感染状況では、さらに1ヶ月以上の準備期間が必要かと思えます。

※ 協会や他のチームへの質問事項、アイデア、紹介したいコロナ対策等があれば教えてください。(その他の質問に対する回答も含めて、ここに記載しています。協会からの回答は赤字で記載しています。)

- ・ 質問ではありませんが、大会が開催されるとなった場合に、会場までの移動方法に苦慮しています。(保護者が送迎できない場合、他者の車に同乗させることが出来ず、とは言え選手だけで公共の交通機関を使用させるのも、不安を拭えずにいます。)
- ・ 練習会場などへの車での移動は乗り合わせを実施しているか？している場合のコロナ対策例を教えてください。

→ 基本的に、公共機関の利用での来場や車の乗り合わせ来場は不可としています。止む無く乗り合わせをする場合は、事前に車内消毒を行う事、窓を開け換気すること、同乗者全員がマスクをすること等、大会に参加するにあたり最低限遵守していただきたい項目をガイドラインとして作成しています。

- ・ 横浜市の学校の体育館は8月から使えるようになります。神奈川県協会の文言には、※チーム本拠地の学校が休校中や練習場所が解除されていない場合は、チームでの練習は出来ません。各チームで情報を収集し、的確な判断してください。とありますが、そのあたりの解釈が難しいです。コロナ前から外で練習することもなかったもので、現在、外での練習を始めました。協会の意向には当然沿うつもりですので問題があれば連絡を頂ければと思います。
- 例えば、チーム員が複数の小学校の児童の場合、本拠地の学校は通常に戻ったが、チーム員が通う他の小学校は休校中等、指導者は情報を収集し練習する/しないの的確な判断をしてください。という事です。基本的にチーム全体練習は、チーム員が通っている全ての小学校が通常に戻ってから行っていただきたいと思います。
- ・ 東京から大会案内が来たので参加したいが、ステップ3にいつ移行するのか。
また、ステップ3でもガイドライン遵守とある。そこに「②練習では(5)フォーメーションは隣同士が近く密になるため行わない」とあるが、県大会もそのような規制で行われるのか。さらに、「1. …事前に把握しておくことの⑤他者との距離(できるだけ2m以上)を確保する」というのは試合をするとき事実上不可能だが緩和されるのか。
- ステップ3への移行については未定です。
ガイドラインの見直しをしますが、フォーメーションに関しては、なるべく、他者との距離をとることを心掛けてください。
- ・ アイデアというほどではないですが、マスクはコロナ対策に有効だと思うので、マスク着用で少し短い時間にして試合をするというのはどうでしょうか。マスクしたままは思った以上にきついです…。それか、2分半で、ハーフタイムを設け、その間にメンバーチェンジや給水などをして試合を行うとか…。協会の方々が何とか再開をしようと頑張っているのありがたいです。
何か協力できることがありましたらいたしますので、連絡いただければと思います。
- マスクは基本的に感染させない為の対策です。(感染予防としてゼロではありませんが)
マスクをして試合をすると呼吸困難や熱中症を発症することもあり得ますので、県協会としては試合中のマスクは推奨しません。(チームの判断で着用するのは構いません。)
- ・ 審判の笛からの飛沫など気になります。電子ホイッスルに変更などでマスク着用も可能になるのではないかと思います。
- ・ 公式戦の人数を8名程にさせていただきたいです。
- ・ 今後、大会を開催する際に取り入れる新しい方式を考えてみました。
 - ・10または8人制で外野は3人など
 - ・ジャンプボールはじゃんけん
 - ・審判の前に飛沫対策のシート、協議はコートの外で距離をとって行うなど。ドッジボールの本来の相手人数を減らすためのオフェンス、味方人数をできるだけ多く残すためのディフェンスなど意味は忘れずに、「コロナ感染症バージョン」のようなもので楽しく出来ればよいと思います。
- 電子ホイッスルは音量が小さく大会には不向きです。
ホイッスルからの飛沫に関しては、フェイスシールド着用も視野に入れた審判員のジャッジ方法、また、人数や時間等を含めた競技方式についても理事会にて細かく検討する予定です。
- ・ 密接するフォーメーションの工夫された練習方法をご教示いただきたくお願いします。
- 他者との距離をとることを意識して、新たな練習方法を考えてください。
- ・ まだ、体育館での練習が出来ませんが、シューズの裏を触る選手が多いと思いますが、その対策で良いアイデアがあれば、教えて頂きたいと思います
- 滑るから靴底を手で拭くと思われるので、滑らない様な対策を行い、また、コロナについての知識(感染者の飛沫は床に落ち、触ることから感染リスクが高まる等)を子供たちに分かるように説明し、シューズの裏は決して手で触らない指導をし、アルコール等で自分の手をこまめに消毒(拭く)等を習慣づけるようにしてください。
- ・ コロナ対策はやり過ぎくらいが丁度いいと思います。
- ・ 大会開催など活動再開に際して何かご協力できることがありましたら、何なりと仰ってください。
- ・ 一生懸命頑張っている子供達にチャンスを与えたいと思う反面、やはり8月一杯までは様子を見た方がいいのではないかと意見がチーム内では強くあります。難しい判断を迫られる状況にあります。
- ・ 活動再開時期は、指導者、保護者と相談の上で決定する予定です。

- ・ 昨年も体育館が使用出来ず 今年のコロナ問題で部員募集が出来ず、来年度以降のチーム存続が危機的状態です
- ・ 自粛期間中はリモートで集まり、家トレーニングをやりました。
- ・ 大会を何とか開催するために色々と考えていただきありがとうございます。
- ・ チーム活動を中止していますが、協会からのご連絡などあればチーム代表者にお伝えください。